

令和 6 年 7 月 3 日
消 防 庁

令和 6 年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

令和 6 年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人 23 名、団体 10 団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員 8 名、女性（婦人）防火クラブ員 5 名

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生、防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性（婦人）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

○ 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

- 1 日時 7月10日（水）13時30分～14時00分
- 2 場所 合同庁舎第二号館地下2階講堂
東京都千代田区霞が関二丁目1番2号



連絡先

消防庁総務課

檀田係長・田中事務官

電話 03-5253-7521（直通）

E-mail: fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくだ
さい。

令和6年度

安全功勞者総務大臣表彰
消防功勞者総務大臣表彰

令和6年7月

消 防 庁

1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 森 茂 (北海道・一般社団法人北海道消防設備協会 理事) ----- 1
- 石井孝行 (福島県・郡山地方消防防災協会 消防設備部会 幹事)
- 権田勉江 (群馬県・太田市女性防火クラブ 会長) ----- 2
- 中島直人 (埼玉県・戸田市防火安全協会 会長)
- 岡安栄一 (千葉県・浦安市防火安全協会 会長) ----- 3
- 伊関則子 (東京都・高輪女性防火の会 会長)
- 大橋智夫 (東京都・荏原防災設備業等連絡協議会 会長) ----- 4
- 齋藤徳子 (東京都・麻布防火防災協会女性防火防災部会 会長)
- 葉山相也 (東京都・赤羽防火管理研究会 会長) ----- 5
- 岸井洋一 (神奈川県・多摩防火協会 会長)
- 荒川晶一 (岐阜県・一般財団法人岐阜県消防設備協会 理事) ----- 6
- 市橋千尋 (岐阜県・北方町女性防火クラブ会長)
- 瀬戸利之 (岐阜県・恵那市危険物安全協会 前会長) ----- 7
- 仲田昌司 (京都府・西京自衛消防隊連絡協議会 会計幹事)
- 坂本榮二 (大阪府・旭防火協力会 会長) ----- 8
- 玉置三平 (大阪府・泉佐野市火災予防協会 相談役)
- 橋本 治 (大阪府・吹田市建設業防火協会 会長) ----- 9
- 谷勝公代 (兵庫県・加西市婦人防火クラブ連合会 会長)
- 藤井準二 (広島県・福山市東防火協会 会長) ----- 10
- 田中孝子 (山口県・玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ 会長)
- 綿貫志郎 (山口県・伸宏保育園幼年消防クラブ 会長) ----- 11
- 白山早苗 (高知県・南国市女性防火クラブ連合会 会長)
- 永江隆志 (福岡県・みやま市防災協会 副会長) ----- 12

2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- あんなか し じょせいぼう か 安中市女性防火クラブ（群馬県） ----- 13
- よつやぼう か かんりけんきゅうかい 四谷防火管理研究会（東京都）
- せきし じょせいぼう か 関市女性防火クラブ（岐阜県） ----- 14
- いっばんざいだんほう じんしずおかけんしょうぼうせつ びきょうかい 一般財団法人静岡県消防設備協会（静岡県）
- あまがさきせいにかんかぶしがいしや む こ がわこうじょう 尼崎製罐株式会社 武庫川工場（兵庫県） ----- 15
- ひがしやまち くぼうさいふくし 東山地区防災福祉コミュニティ（兵庫県）
- じゅうにんまちいち くみ ふ じんぼう か 十人町1の組婦人防火クラブ（長崎県） ----- 16
- いりょうほうじんあさひ の かい あさひ の そうごうびょういん 医療法人朝日野会 朝日野総合病院（熊本県）
- かぶしがいしや さいしゅんかんせいやくしよ 株式会社 再春館製薬所（熊本県） ----- 17
- しゃかいふくしほうじんじゅりようかい とくべつよう ごろうじん てんじゅえん 社会福祉法人寿量会 特別養護老人ホーム天寿園（熊本県）

3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- せ お たけ し 瀬尾武志（北海道・羊蹄山ろく消防組合俱知安消防団 団長） ----- 18
- もり や くに ひろ 守屋邦代（北海道・釧路東部消防組合釧路消防団 団長）
- たか はし みつ はる 高橋光晴（埼玉県・上里町消防団 団長） ----- 19
- もり た こう いち 森田耕一（埼玉県・所沢市消防団 団長）
- なか にし かず ひろ 中西一浩（三重県・大台町消防団 団長） ----- 20
- のぶ ちか ゆき ひろ 延近敬弘（広島県・福山市消防団 団長）
- やま もと かず き 山本一樹（熊本県・八代市消防団 団長） ----- 21
- まえ かわ なお よし 前川尚誼（沖縄県・宮古島市消防団 団長）

4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性(婦人)防火クラブ員）

- おか だ み ち こ 岡田美智子（京都府女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 22
- おがさわら ち か こ 小笠原千賀子（秋田県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）
- しげ た ひさ よ 重田久代（鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 23
- み つぎ まさ こ 三次雅子（茨城県女性防火・防災クラブ連絡協議会 会長）
- たけ むら ひ ろ こ 武村妃呂子（佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会 副会長） ----- 24

安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

個人の部

もり しげる
○森 茂

北海道・一般社団法人北海道消防設備協会 理事

平成13年10月、自社の代表取締役社長に就任以来、建築物における消防機器等の設置工事・保守点検を行う消防設備工事の事業に精励する傍ら、平成18年5月から社団法人北海道消防設備協会の理事に就任し、その間、豊富な識見と卓越した指導力により、組織強化と健全運営に取り組み、会員事業所の技術力の向上に尽力するとともに、同協会の発展に尽くした。

また、消防行政への深い理解のもと、防火・防災意識の高揚にも献身的に取り組み、率先垂範の姿勢は会員のみならず地域住民からも厚い信頼が寄せられている。各種関係団体の要職も兼任し、各会の育成発展への取組を通じて、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

いし い たかゆき
○石井 孝行

福島県・郡山地方消防防災協会 消防設備部会 幹事

氏は、郡山地方消防防災協会消防設備部会の幹事として、消防機関と連携を図りながら、防災に関する講習会や研修会、防災関連行事に参加協力することで、地域の防災対策に取り組んでいる。

また、平成18年6月から現在まで、(一社)福島県消防設備協会点検済表示推進委員会委員就任、平成24年8月から令和3年5月まで、郡山地方消防設備同業組合組合長就任、平成29年6月から令和3年5月まで、(一社)福島県消防設備協会監事に就任、さらには、平成24年8月から現在まで、郡山地方消防防災協会幹事に就任し、社会貢献に関わる多くの団体の役職を兼任、豊富な識見と卓越した指導力により、福島県及び郡山地方の地域防災力の向上について多大なる貢献が認められるため。

○^{ごん だ}権田 ^{ます え}勉江

群馬県・太田市女性防火クラブ 会長

氏は、平成13年に尾島町婦人消防隊に入隊し、平成15年に分会長となり婦人消防隊の活動にも積極的に参加し活躍した。

平成17年の市町合併に伴う組織改編により太田市女性防火クラブが発足。地元の尾島方面隊の世良田支部長に就任。平成19年からは尾島方面隊長、平成25年からは副会長として会長の補佐を努め、平成29年からは会長に就任。令和4年からは群馬県女性防火クラブ連絡協議会の副会長の要職に就き、地域防災行事などにリーダーとして積極的に参加・協力し、後進の育成指導に励むなど太田市のみならず群馬県の火災予防思想の普及啓発に多大な貢献をしている。

○^{なかじま}中島 ^{なお と}直人

埼玉県・戸田市防火安全協会 会長

氏は、昭和61年5月、戸田市防火安全協会理事に、また、平成26年5月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

この間、消防機関と連携し、各種行事等を開催することにより、会員相互の融和親睦と危険物施設における安全管理や事故防止の普及・啓発活動に取り組み、さらに、火災予防運動期間中には、小学生を対象に防火ポスター展を開催し、子供たちの火災予防思想の普及啓発や健全な育成を図り、安全・安心な地域社会づくりに寄与している。

更に、(公社)埼玉県危険物安全協会連合会の監事に就任し、県域における危険物の事故防止と安全管理体制の確立に多大な貢献をしている。

おかやす えいいち
○岡安 栄一

千葉県・浦安市防火安全協会 会長

平成13年に浦安市防火安全協会理事に就任し、平成14年には副会長に、平成31年から会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、高い識見と卓越した指導力により会の充実と育成発展に尽力している。また、令和元年から令和5年まで一般社団法人千葉県危険物安全協会連合会監事及び副会長を歴任し、連合会の円滑な運営に尽力した。

この間、浦安市消防行政唯一の協力団体として、各事業の推進を図るとともに、市内における危険物施設及び防火対象物の事故、火災防止の啓発に尽力し、危険物や防火・防災に係る研修会等を通じて、保安教育や防火・防災教育の普及に努め、災害に強い安全な地域社会づくりに多大な貢献をしている。

いせき のりこ
○伊関 則子

東京都・高輪女性防火の会 会長

平成2年に高輪防火婦人会会長に就任、会の名称変更に伴い平成13年に高輪女性防火の会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、会の育成発展に尽力している。

この間、家庭及び地域における防火防災思想の普及と防災行動力の向上のため、防災関連施設等の視察研修会の実施や火災予防運動時の巡回広報等を活発に実施している。

また、高輪防火防災協会常任理事、港区民生委員・児童委員協議会高輪地区副会長及び港区消防団運営委員会委員を務めるなど、会員はもとより地域住民からの信頼も厚く、安全・安心な地域社会の実現に向けて多大な貢献をしている。

おおはし ともお
○大橋 智夫

東京都・荏原防災設備業等連絡協議会 会長

平成7年、荏原防災設備業等連絡協議会の発足に際し発起人の一人として主導し、発足当初から副会長、平成11年6月からは会長に就任し、防災設備等に関する深い知識と卓越した指導力により約30年にわたり同会の育成発展に尽力している。

この間、会員事業者の防火防災に関する自主的な研究・研鑽を主導し、適正な事業遂行を通じて地域の防火安全に大きく寄与し、また、消防署や他団体と連携・協力して防火防災思想の普及にも取り組んでおり、事業者に加え地域住民からの信頼も厚い。平成26年5月には日本防災設備協同組合東京第1支部長にも就任し同会の事業を推進するなど、地域の防災設備関係事業の適正な推進に多大な貢献をしている。

さいとう のりこ
○齋藤 徳子

東京都・麻布防火防災協会女性防火防災部会 会長

昭和52年に麻布防火防災協会女性防火防災部会に入会し、平成17年から会長に就任して以来、長年にわたり、豊富な識見と卓越した指導力のもと積極的に消防行政に協力し、防火防災意識の醸成並びに防災行動力を向上した功績は誠に顕著であり、他の模範である。

麻布防火防災協会の副会長、麻布宮村町会の婦人部長を就任し、会員及び地域住民からの信頼も厚く、関係機関と連携体制の強化を進めながら、絶えず率先して全国火災予防運動中の巡回広報を推進する等、懇親的に地域防火防災活動に従事し、家庭、地域での安心安全な街づくりの実現に多大な貢献をしている。

は やま そ う や
○葉山 相也

東京都・赤羽防火管理研究会 会長

平成12年11月に赤羽防火管理研究会に理事として入会し、平成23年4月には会長に就任し、多年にわたり防火防災思想の普及に努め、豊富な識見と卓越した指導力、献身的な協力により会の育成発展に尽力している。

この間、平成21年5月には赤羽消防懇話会の副会長に、平成23年4月には赤羽災害予防協会の副会長に就任するなど、各種消防協働団体の要職に就き、赤羽消防署と消防協働団体との連携協力した各種事業の推進に献身的に尽力し、会員相互の融和親睦と連携体制の強化を進めながら、地域住民や事業所関係者への防火防災思想の普及啓発及び防災行動力の向上に多大な貢献をされた功績は、誠に顕著であり他の模範である。

き し い ひ ろ か ず
○岸井 洋一

神奈川県・多摩防火協会 会長

平成15年に多摩消防ボランティア委員会委員長に就任し、平成17年からは多摩防火協会総務役員を兼務すると、平成20年には監事を、平成27年からは会計を務め、役員や会員からその功績が認められ、平成28年に会長に就任した。消防行政とともに各種火災予防広報を実施しつつ、独自に住宅用消火器共同購入・廃棄事業、AED無料貸出事業、ホースキット購入助成事業を展開し地域の防火防災力向上に貢献している。会長就任と同時に川崎市防火協会連合会副会長に、令和5年からは会計を兼務するなど市内全域に活動の場を移し、全市における防火・防災意識の高揚と啓発に多大な貢献をしている。

○^{あらかわ}荒川^{しょういち}晶一

岐阜県・一般財団法人岐阜県消防設備協会 理事

平成16年5月、一般財団法人岐阜県消防設備協会の前身である財団法人岐阜県消防設備保安協会の理事に就任し9年間務めた後、平成26年5月、当協会の理事に再度就任して以来、火災から生命及び財産を守る消防用設備等の適正な設置、維持管理において関係業界との連携を深め、責任感や使命感の醸成、資質の向上に努めるとともに、安心して暮らせる安全な地域社会の構築に尽力している。

また、平成24年5月、岐阜県管設備工業協同組合の理事長に就任し、南海トラフ地震など大規模な災害に備え、地域を代表する企業として市民生活に多大な影響を与える水道施設等の応急復旧に関し、積極的に取り組んでいる。

○^{いちはし}市橋^{ちひろ}千尋

岐阜県・北方町女性防火クラブ 会長

平成26年4月に北方町女性防火クラブ会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。また、各事業の推進を図るとともに、春、秋の全国火災予防運動の一環として実施される防災のつどいには、自ら先頭に立って会員事業所及び地域住民に呼びかけるなど、町民の防災意識の高揚に努めている。

さらに、平成26年4月には岐阜県女性防火クラブ運営協議会の理事も就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

せと としゆき
○瀬戸 利之

岐阜県・恵那市危険物安全協会 前会長

平成17年5月恵那市危険物安全協会設立時から同協会監事に就任し、平成24年4月まで豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽くした。

さらに、平成24年5月からは恵那市危険物安全協会会長に就任、同協会の育成発展を通して、危険物に関する無事故思想の普及・啓発に尽力しており、協会員からの信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

また、平成28年6月から平成30年6月まで（一社）岐阜県危険物安全協会副会長、令和2年6月から令和4年6月まで同協会理事に就任し県民生活の安全保持に多大なる功績があった。

なかた まさつぐ
○仲田 昌司

京都府・西京自衛消防隊連絡協議会 会計幹事

氏は、平成23年に西京自衛消防隊連絡協議会の副議長に就任し、平成26年からは4年間にわたり議長を務めた。現在は会計幹事を務めており、平成23年の役員就任時から現在に至るまで、同協議会を統括し、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力で活発な協議会運営に当たるとともに、会員事業所相互間の連携に努め、各協議会事業の際には、会の育成発展に尽力している。

また、京都市危険物安全協会西京支部評議員及び西京防火協会理事にも就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就くとともに、防火思想の普及・啓発に尽力し、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{さかもと}坂本 ^{えいじ}榮二

大阪府・旭防火協力会 会長

平成24年6月に旭防火協力会会長に就任し、長きにわたり豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした功績は誠に顕著である。防火協力会の円滑な運営について旭区という区内の特異性を検討し、全般的見地から協力会事業の円滑な推進のため、会社、事業所、各種学校関係等に対しては自主防災管理とその高揚の施策を効果的に進める一方、消防署が行う商店をはじめ、一般住宅、高齢者世帯等区内のすみずみまでの防火診断、地区ごとの講演会、救命講習会、防火見学会等の開催には各役員を通じて協力体制を整え、区民の防災意識の高揚に努めるとともに消防行政の円滑な推進に尽力するなど多大な貢献をしている。

○^{たまき}玉置 ^{さんぺい}三平

大阪府・泉佐野市火災予防協会 相談役

平成24年5月、泉佐野市火災予防協会の会長に就任し、自衛消防組織の育成を目的にした屋内消火栓操法競技大会の開催をはじめ、幼年・少年消防クラブの育成などの活動を通じ、防火防災思想の普及に尽力した。また、会員相互の親睦を積極的に進め、協会の円滑な運営に尽力した。平成30年5月からは相談役に就任し、豊富な経験と指導力により協会の継続的な育成、発展に取り組まれている。

温厚で柔和な人柄から周囲の信頼も厚く、多方面から安心、安全なまちづくりに多大な貢献をしている。

はしもと おさむ
○橋本 治

大阪府・吹田市建設業防火協会 会長

平成23年、吹田市建設業防火協会会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くし、さらに、吹田市建設業防火協会、工場・危険物防火協会、公衆集合場防火協会、家庭防火クラブ連絡協議会で構成される吹田市防火連合会の会長に2度就任されるなど、吹田市建設業防火協会のみならず、各防火協会の育成活動を積極的に行うことにより、防火思想の普及・啓発に大きく尽力した。また、吹田市の消防・防災の指導者として、市民の防火・防災意識の高揚に努め、吹田市内の安心・安全の街づくり及び火災発生の減少に多大な貢献をしている。

たにかつ きみよ
○谷勝 公代

兵庫県・加西市婦人防火クラブ連合会 会長

平成20年4月、加西市婦人防火クラブ連合会会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により加西市婦人防火クラブ連合会の育成発展に尽くした。

さらに、平成20年4月には加西市防火協会理事にも就任し、家庭における火災予防思想の普及・啓発に尽力し、加西市の防火・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{ふじい}藤井 ^{じゅんじ}準二

広島県・福山市東防火協会 会長

平成15年に福山市東防火協会引野支部の支部長に就任以来、平成24年に福山市東防火協会副会長及び福山市防火協会連合会理事、令和3年に福山市東防火協会会長及び福山市防火協会連合会副会長の要職を歴任、その間、防火協会の運営に積極的に携わり、焼死火災撲滅として住宅用火災警報器設置等の推進、住宅防火の推進として秋・春の火災予防運動期間中に関係機関と連携して街頭広報や防火教室等の実施、初期消火技術の向上のため消火技術競技大会の開催や消防競技大会への参加をはじめとした消火器訓練の実施等、常に熱意をもって防火・防災思想の普及徹底並びに消防力の充実強化に尽力し、消防行政に多大な貢献をしている。

○^{たなか}田中 ^{たかこ}孝子

山口県・玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ 会長

平成5年4月に玖珂中央幼稚園に入職以来、玖珂中央幼稚園幼年消防クラブを指導、平成22年11月に園長に就任以降は、当クラブの中心的存在として長きにわたり活躍している。

地域の福祉施設などを訪問して防火演技を披露、年齢を超えた人々との触れ合いを通じて豊かな心を育む活動、毎月の避難訓練では火災・地震などの自然災害に対応する訓練や被災者を思いやる心を指導、幼年期から防火防災思想を高めることが必要という観点にたち、防火に関する幼児教育に熱意を持って取り組まれている。

地域住民の防災・防火意識の高揚と普及啓発に尽力しているのみでなく、地域に密着した啓発活動を通じて、幼年消防クラブ員が将来の地域防災を担うリーダーへと成長していくよう育成しており、多大な貢献をしている。

わたぬき しろう
○綿貫 志郎

山口県・伸宏保育園幼年消防クラブ 会長

平成22年、伸宏保育園幼年消防クラブ会長に就任し、毎月、避難訓練を「火災」「地震」「水災害」などさまざまな災害を想定して実施しており、防火防災に関する知識の習得・向上を目的に子ども達の教育に熱心に取り組んでいる。

また、毎年地域で行われる祭りなどで火災予防の啓発を目的に防火和太鼓の演奏、防火の誓いを発表し、地域住民の防火防災思想の普及啓発に寄与している。

春の全国火災予防週間に大型商業施設で行われる防火ポスター作品に応募し、園児や保護者にとどまらず、多くの市民に火災予防啓発を呼びかけており、伸宏保育園幼年消防クラブだけでなく、他の幼年消防クラブの活性化にも多大な貢献をしている。

しらやま さなえ
○白山 早苗

高知県・南国市女性防火クラブ連合会 会長

平成17年12月に南国市女性防火クラブ連合会に入会して以降、理事、副会長を歴任し平成25年4月により会長に就任する。現在に至るまで、防火、防災思想の普及啓発に努めるとともに、豊富な経験と卓越した実行力により、連合会の育成発展に大きく尽力している。

特に、会長就任後は、自ら先頭に立ち、各種事業を積極的に推進するとともに、消防本部主催の行事にも惜しみなく率先して協力するなど、消防機関や地域住民からの信頼が寄せられている。

また、各種関係団体の要職も兼任しており、各会の育成発展への取組を通じて、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

ながえ たかし
○永江 隆志

福岡県・みやま市防災協会 副会長

平成21年、みやま市防災協会の副会長に就任し、豊富な識見とその卓越した指導力により、役員として長きにわたり会の育成発展に尽力している。

ひとり暮らし高齢者世帯への住宅用火災警報器設置促進事業を継続して実施し、市内の設置率向上に大きく貢献している。また、各種防災事業を通して、会員の防災意識の高揚に努め、防火・防災思想の普及に努めている。

さらに、消防行政への深い理解のもと、協会の運営に対し率先して行動し指導力を発揮するなど、会員や地域住民からの人望も厚く、会の育成発展に大きく寄与するとともに、地域全体の安全・安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

団体の部

あんなか し じょせいぼう か
○安中市女性防火クラブ

(本部長 小俣 浪子)

所在地 群馬県安中市

昭和58年4月に各家庭における火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に結成し、以降初期消火活動や防火対策の重要性を認識し、消火器の取扱訓練や、住宅用火災警報器の普及啓発活動など、防火思想の高揚と同市の火災の減少に多大な貢献をしている。

よつ や ぼう か かんり けんきゅうかい
○四谷防火管理研究会

(会長 関川 明子)

所在地 東京都新宿区

昭和33年2月の設立以来、今日までの長年にわたって、東京消防庁四谷消防署管内の防火管理者相互の研究団体として活動を続け、事業所の防火管理者として必要な知識や技術の習得をはじめ、消防用設備等の適正な維持管理、職場の防火防災教育や自衛消防訓練等に関する情報提供やアドバイスを行うなど、防火対象物における火災予防の徹底と地域住民の防火防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

また、火災による死者の発生を防ぐための積極的な啓発活動など、地域の火災予防を推進する安心安全活動が火災発生件数の減少に大きな役割を果たしている。

せき し じょせいぼう か
○関市女性防火クラブ

(会長 安田 すみ子)

所在地 岐阜県関市

昭和61年5月に結成して以来、会員全体の防火・防災に対する認識を深めるほか、各種災害が発生した際に対処できる多種多様な知識・技術の向上に努めてきた。また、地域で開催される各種防災関係行事に積極的に参加し、市民の防火・防災思想、隣保の協力体制及び連帯意識の高揚を図っているほか、市民に向けた防火・防災指導を行うことで、これまで会員が培ってきた知識や技術の市民への普及を精力的に行っている。

結成以来継続してきたこれらの活動により、同クラブは、災害のない、安全で明るい地域と家庭の構築に多大な貢献をしている。

いっばんざいだんほうじんしずおかけんしょうぼうせつ び きょうかい
○一般財団法人静岡県消防設備協会

(理事長 鈴木 文三)

所在地 静岡県静岡市

一般財団法人静岡県消防設備協会は、昭和50年7月の設立以来、今日までの長年にわたって、消防用設備等の設置促進、維持管理の適正化の推進をはじめ、消防関係技術者（消防設備士、消防設備点検資格者等）の指導育成、防火対象物の防火防災安全対策の推進、火災予防思想の普及啓発、地域の防災活動への参加などの各種事業を積極的に展開し、安心・安全な地域社会づくりに取り組んでいる。これらの活動を通じて静岡県民に対する防火、防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

また、平成30年度から県内の工業高校や短期大学校に現役消防設備士を派遣し、若い人のキャリアアップを応援するなどの人材育成にも力を注いでいる。

あまがさきせいかんかぶしがいいしゃ む こ がわこうじょう
○尼崎製罐株式会社 武庫川工場

(代表取締役社長 荒木 康宏)

所在地 兵庫県尼崎市

自衛消防訓練の実施にあたっては、敷地全体において、全社従業員を挙げての取り組みにより、強固な防火管理体制の構築を図っており、ひいては地域社会の防火防災意識の向上にも貢献している。なかでも、尼崎市防火協会が主催する自衛消防隊消防操法大会には毎年必ず従業員を参加させ、自衛消防隊のリーダーとして活躍できる人材の育成に意を用い、強固な防火管理体制の維持に努めている。

各種製品の製造工程に危険物の取り扱いは不可欠であるが、総合的な安全確保及び環境への配慮には特段の注意を払っており、企業の社会的責任を果たしている。

また、行政が推進する防火防災事業にも積極的に参画するとともに、尼崎市内の事業所により構成されている尼崎市防火協会において役員を歴任するなど、地域防災力の向上にも貢献している。

ひがしやまち くぼうさいふくし
○東山地区防災福祉コミュニティ

(委員長 次本 正)

所在地 兵庫県神戸市

平成9年に発足し、毎月の定例会には30名ほどが集まり、会議と併せて防災資機材庫の点検・小型動力ポンプの点検・要援護者情報の更新と整理を行っている。

平成11年に区内の近隣の防災福祉コミュニティと連携した訓練を神戸市内で初めて実施し、以降継続している。

また毎年若者をターゲットとして楽しみながら防災を学べる参加型の訓練を開催し、地域の防災意識の向上、顔の見える関係の醸成につながっている。

令和4年には、神戸市で初めて夜間に南海トラフ地震が発生した想定で、要援護者の安否確認、避難誘導及び避難所開設などの訓練を実施することで、夜間における地域防災力の向上に貢献をしている。

じゅうにんまちいち くみふじんぼうか
○**十人町1の組婦人防火クラブ**

(代表 本村 寿実恵)

所在地 長崎県長崎市

昭和45年5月に、十人町自治会区域における火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に結成された。結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という高い意識のもと、当市が実施する消防出初式をはじめ、婦人防火クラブ幹部研修会や市民防火のつどい等各種行事に積極的に参加し、会員の防火防災意識の高揚に努めているほか、地域での防火防災訓練にも率先して参画するなど、自主防火体制の中心的存在として活動している。

また、火災予防運動期間中の防火広報や地域住民による歳末消防警戒に伴う夜警にも参加するなど幅広い活動を展開するとともに、防火防災についてのオリジナルの広報誌を毎月作成して地域住民に配布することで火災予防を呼びかけるなど、地域の防火防災意識の高揚に大きく貢献している。

いりょうほうじんあさひのかい あさひのそうごうびょういん
○**医療法人朝日野会 朝日野総合病院**

(理事長 清水 安全)

所在地 熊本県熊本市

昭和48年の開設以来、「愛する人を安心して任せられる病院の創造」を基本理念とし、地域医療への貢献努力はもとより、防火、防災、救急意識の向上を図ることを目的として、職員一丸となって消防訓練及び防災研修等を実施し災害時の行動力の向上に努めている。

また、地域一体となった防火・防災体制の確立にも貢献している。平成28年に発生した熊本地震の際は、地域住民に避難場所の提供を実施し、非常食の配布など地域の防災拠点として地域貢献に積極的に務めている。

かぶしきがいしゃ さいしゅんかんせいやくしよ
○株式会社 再春館製薬所

(代表取締役CEO 西川 正明)

所在地 熊本県上益城郡益城町

平成13年に益城町に「再春館ヒルトップ薬彩工園」を開設以来、従業員による消防訓練や、火気設備、避難施設等の自主点検などにより事業所の安全対策の強化、防災意識の高揚に取り組んでいる。

平成28年熊本地震の際には、「社員の生命、社員・家族の生活が最優先」、「一刻も早く、お客様へのサービスを再開する」、「地元である益城町、熊本への応援」の方針を掲げ、早期の業務再開を実現するとともに、被災地への地域社会に多大な貢献をした。

しゃかいふくし ほうじんじゅりょうかい とくべつよう ごろうじん てんじゅえん
○社会福祉法人寿量会 特別養護老人ホーム天寿園

(理事長 梶原 瑞恵)

所在地 熊本県熊本市

平成2年7月の設立以来、消防用設備等の適切な維持管理に努めると共に、消防計画に基づく消防訓練を年2回以上実施し、全職員で火災予防の推進と防火思想の普及徹底を図っている。

防火管理者を中心として昼夜を想定とした防火訓練を実施するとともに、同法人が運営する隣接の福祉施設とも連携した訓練も行っている。

また、「自分たちの施設は自分たちで守る！」をスローガンに平成30年10月、天寿園自衛消防団「ファイヤーファイター」を結成し、毎月1回の防災会議や施設設備点検を行うとともに、年間2回以上の防火防災訓練や新人職員への防災勉強会を開催する等の当該施設構造や有事の際の活動方針等の共有を図る等、地域の要としての防火防災意識の向上に努めている。

消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性防火クラブ員

消防団員

○瀬尾 武志

北海道・羊蹄山ろく消防組合倶知安消防団 団長

昭和55年自ら志願し入団以来、44年余りの永きに亘り消防業務に情熱を傾け精励した功績は誠に顕著であり、他の模範である。温良篤行にして責任感が強いため団員からの信望も厚く、郷土愛護に徹する姿勢は地域住民が等しく認めるところである。

近年では平成31年に外国語通訳サポーターの任命や外国籍のある消防団員の任命、令和4年には女性分団の発足等、複雑多様化する状況に適切に対応している。

また、平成29年から北海道消防協会評議員、令和3年から北海道消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○守屋 邦代

北海道・釧路東部消防組合釧路消防団 団長

昭和48年9月釧路消防団入団以来、50年の永きにわたり幾多の災害で活躍し、また教養訓練を通じ消防団員の資質向上と消防全般にわたる知識及び技能の習得などその育成に特に力を傾注し、今日の規律正しく地域住民に信頼される釧路消防団を築き上げた功績は誠に大である。令和2年に釧路郡釧路町曙で発生した住宅火災では部下団員へ常備消防の後方支援及び隣接住宅への放水を的確に指示し、延焼を半焼、部分焼で抑えることができ、部下団員のみならず、地域住民からも絶大な評価を得ている。また、同年には女性消防団を発足させ迅速な災害対応の体制を構築し、消防団組織の強化に尽力した。

たかはし みつはる
○高橋 光晴

埼玉県・上里町消防団 団長

昭和57年4月に入団以降、42年余の永きにわたり、消防団員として消防業務に精励してきた。この間、住民の生命・財産を守るため、あらゆる努力を惜しまず日夜予防消防に邁進し、消防団長に就任後は豊富な経験に基づく指導力により団員の指導育成、技術の向上に努めた。

消防団員拝命以来、幾多の災害に出動しているが、令和5年12月に建物火災が発生した際、冷静沈着な判断のもとに指揮を執り、延焼を食い止め被害を最小限に抑え火勢鎮圧に貢献した。

また、平成24年5月には埼玉県消防協会本庄児玉支部長に就任。令和3年4月からは埼玉県消防協会副会長としても尽力しており、その功績は誠に顕著である。

もりた こういち
○森田 耕一

埼玉県・所沢市消防団 団長

昭和53年4月に所沢市消防団員を拝命以来、46年余りの永きにわたり、農業や自営業を営む多忙な日々にもかかわらず、消防団活動に従事している。

平成26年に団長に就任すると、いざ災害の発生を知るや昼夜を問わず、災害の規模、状況、気象等を的確に素早く把握して部下団員の指揮に当たっている。また、団員の処遇改善にも熱心に取り組んでおり、尽力の結果、令和4年4月からの出動報酬の増額・改善に至った。その人柄は団員のみならず、地域住民からも大きな信頼を得ている。

令和3年4月からは埼玉県消防協会の会長としても尽力しており、その功績は誠に顕著である。

なかにし かずひろ
○中西 一浩

三重県・大台町消防団 団長

昭和58年に入団以来、41年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

令和2年8月に木材工場で火災が発生した際、氏はいち早く現場に駆け付け、冷静沈着な判断のもと指揮を執り、隣接する住宅や山林への類焼を最小限に抑え、迅速な火災鎮圧に大きく貢献した。

その他、台風等の風水害時での活動や行方不明者に対する捜索活動など、さまざまな災害で団員の指揮監督を的確に行うとともに、平時においても消防施設及び機械器具の点検での巡回指導や率先して団員の育成指導に努め地域の安全安心に尽力してきた、その功績は誠に顕著である。

のぶちか ゆきひろ
○延近 敬弘

広島県・福山市消防団 団長

昭和57年4月福山市消防団員を拝命、常に第一線消防団員として各種災害に率先垂範防ぎょ活動に挺身し被害の軽減に努め、消防の使命達成とその発展に尽力した。

平成18年4月には副団長を、平成21年1月には団長を拝命、長きにわたり幹部として諸事多難な本市消防団活動に挺身し、団員の指導育成、資質向上、防火思想の徹底に多大な貢献をしている。平成30年に西日本を襲った「平成30年7月豪雨」では、的確な指揮命令により、昼夜を分かたず水防活動等を行い、市全域にわたり拡大した被害を最小限に食い止めた。

また、平成29年6月より広島県消防協会会長を令和3年6月から令和5年6月まで日本消防協会副会長として尽力しており、その功績は誠に顕著である。

やまもと かずき
○山本 一樹

熊本県・八代市消防団 団長

昭和50年に入団以来、49年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

令和2年7月豪雨によって特に八代市坂本地区は河川氾濫により甚大な被害を受けた。氏は消防団への的確に指示を行い、行方不明者の捜索や復興に向けた土砂・家財道具等運び出し作業の指揮を執り、地域復興に多大な貢献をした。

令和5年度に行われた第25回全国女性消防操法大会では訓練や大会に消防団一丸となり支援し、史上初の全国女性消防操法大会2連覇に貢献した。

また、平成29年から令和3年まで、及び令和6年からは熊本県消防協会会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

まえかわ なおよし
○前川 尚誼

沖縄県・宮古島市消防団 団長

平成3年5月に入団以来、32年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成19年4月に団長を就任後も、火災発生時には団長就任以降も自ら現場に赴き、避難誘導や交通整理等を実施し延焼及び被害拡大防止に貢献している。団長として各地域における課題を洗い出し、火災防御訓練や搬送訓練を実施するなど、さらなる地域防災力の強化を図っている。

団長の職以外にも、宮古島市防災会議委員や、宮古島市防犯協会、宮古島市市民運動実践協議会等の長を併任しており、消防団活動のみならず地域に寄り添った活動を精力的に行っている。

また、平成19年より沖縄県消防協会理事として多年にわたり尽力し、その功績は誠に顕著である。

女性（婦人）防火クラブ員

おかだ みちこ
○岡田 美智子

京都府女性防火クラブ連絡協議会 会長

地元である城陽市で平成14年6月に城陽市婦人防火クラブ（現：城陽市女性防火クラブ）に入会し、平成16年5月に班長、平成29年4月には会長に選出される。

定期的開催されるクラブ活動では、火災予防の知識の習得、消火器の取扱訓練、救急法訓練等に積極的に取り組み、意欲的に同クラブの発展に寄与し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成30年4月に現団体名称 京都府女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任し、令和元年4月～令和2年3月の1年間と令和4年4月～現在に至るまで、同連絡協議会長に就任した。以来、会長として、婦人層を中心とした研修会、各種の災害訓練に積極的に参加し、防火意識の向上、防火啓発にも努めた。地域防災力の牽引者として、長年にわたり防火思想の普及に努めた功績は誠に顕著であり、他の模範である。

おがさわら ちかこ
○小笠原 千賀子

秋田県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

平成14年に鶴形地区婦人防火クラブ入会以来、防火思想の普及啓発のため各種防火運動や研修会へ参加し、防火意識の向上に努めている。平成24年には同クラブ会長、平成27年には能代市婦人防火クラブ連合委員会会長、平成29年には秋田県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

春・秋の火災予防運動期間中には巡回広報を行い、火災予防を呼びかけるとともにクラブ員の増加にも繋げ、地域の啓発活動の中核として大きな役割を果たしている。

日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、消防団と協力し家庭の防火指導を実施するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

しげた ひさよ
○重田 久代

鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

平成13年鹿児島県内、輝北町つわぶき婦人防火クラブの発足時からクラブの代表として、家庭や地域の防災に加えて、応急手当の普及や災害の際の支援活動など、非常備消防及び常備消防と連携を図りながら広く地域の安全・安心のために活動を行い、20年以上に渡る防火クラブ活動へ貢献されており、幼年消防クラブの育成をはじめ、地域住民の防火防災思想の高揚に向けた防火講演会の開催を行っている。

平成18年から鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会の監事、平成31年からは同協議会の副会長として日本防火・防災協会会長表彰受賞を契機として、更なる飛躍に向けて積極的に活動している。

みつぎ まさこ
○三次 雅子

茨城県女性防火・防災クラブ連絡協議会 会長

平成22年から常陸大宮市女性防火・防災クラブ連絡協議会会長として市内女性防火クラブの活動に積極的に取り組み、クラブの円滑な運営と会員相互の融和に貢献している。

令和3年、茨城県女性防火・防災クラブ連絡協議会会長に就任し、県内各クラブとの交流、諸事研究心に富み、その人格、実行力は他のクラブ員の模範であり、消防関係者の認めるところである。

日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、防火・防災の意識を高めるため、県内女性クラブ員を対象とした防火・防災に関する研修会の開催をはじめ、常陸大宮市女性防火クラブ連絡協議会として、春の火災予防運動で火災予防啓発の街頭広報を実施するなど、地域防災力向上の牽引者として大きな役割を果たしている。

たけむら ひろこ
○武村 妃呂子

佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会 副会長

平成元年4月に大町町婦人消防協力隊に入隊して住宅の防火・地域の防災思想の普及・啓発活動に積極的に取り組み、平成10年4月には同協力隊副隊長、平成27年10月には同協力隊隊長に就任し、平成29年4月には佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会の副会長に就任している。

平成29年の佐賀県女性防火防災クラブ連絡協議会副会長就任後は、大型商業施設で火災予防広報を定期的に行い、女性からの目線に立った「自助」、「共助」の意識を大切にし、地域住民の安全で安心した生活のために多大な貢献をしている。

地域防火防災の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	23	33
	団体	10	
消防功労者表彰	消防団員	8	13
	女性(婦人) 防火クラブ員	5	